

# 青年協ニュース

全国の取組みやチラシ・ニュース等をお寄せください！

日本医労連 FAX: 03 - 3875 - 6270 email: n-ootani@irouren.or.jp

\* このニュースは各県と各県青年部の代表（分かる範囲で）に送っています。  
メール配信や会議での配布など、多くの青年に渡るようご協力ください。

## 青年代表者会議の会場は熱海に決定！

お待たせしました。青年代表者会議（＝青代・せいだい）の会場は、静岡県熱海駅から徒歩5～6分の「南明ホテル」に決まりました。詳細は各全国組合・都道府県医労連宛にお送りする案内をご覧ください。

「集まりやすいから東京がいい」との意見もいただき努力してきましたが、同じ時期に都内で大きな催しもあり、（私たちにつりあった）会場が見つかりませんでした。ご意見くださった皆さま、ごめんなさいm(\_)\_m  
さて、青代では1日目は分散会で、2日は全体会での議論を予定しています。分散会テーマは新年度方針の柱に沿って、遊んで学んで青年部活動を前進させよう（＝青年部の活性化）働きやすい職場にするために何かしよう（＝たたかおう）平和のために行動しよう、全国アクトを成功させよう、の4つとする予定です。申込書に、参加希望の番号を記入してもらおうようにしました。ただ、できるだけ希望に沿えるよう努力しますが、会場の関係で調整させていただくこともあるかもしれません。どうぞご了承ください。

議案は1ヶ月前までに各全国組合と都道府県医労連にお届けできるよう準備中ですので、是非読んでください。多くの組織からのご参加をお願いします！！



## 第13回全国アクトの日程と会場が今月中に決定します

来年8月に北海道で開催される第13回全国アクトの会場は、現在、札幌市内と函館市内の2箇所が候補に上がっており、今月末の日本医労連中央執行委員会で決定します。決まったらすぐに、ニュースでお知らせします。費用や交通など詳細についての開催要項は、11月の青年代表者会議までに準備したいと考えています。決まったことからニュースでもお知らせしていきます。

現地・北海道では、ブロックアクト実行委員会結成時に、同じメンバーで全国アクト実行委員会も継続することを確認しています。現地は頑張っていますよ（＾＾）。前回とおりアクトニュースも発行してアクトに関する情報をお届けする予定です。

## 第14回北海道アクト in 紋別ケンタッキー・ファーム

北海道は8/28～29、門別町「日高ケンタッキーファーム」で開催し、10組合73名が参加しました。特に今回は、全医労・全日赤・全労災など全国組合からの参加が多く、また民医労以外の組織からの参加も増え、広がりのあるブロックアクトとなりました。

1日目、開会式後、すぐ学習企画で、「楽しいクミアイ入門」～組合って何するの？～と題した学習企画では、日本医労連青年協浅山麻実副議長を講師に招き行いました。次に、単組の紹介をそれぞれしてもらい、その後班に分かれて運動会へと移りました。夕食後はキャンプファイアを囲んでの班対抗ダンス対決。即興で各班オリジナルのイカ踊りを披露。その後は夜遅く（朝早く）まで交流し、参加者思い思いのメッセージ寄せ書きも行いました。

翌日は、オプション企画で、乗馬をはじめ、他にも様々なスポーツ施設で班ごと自由に行動を。閉会式では、イカお面を装着し、北海道の形の人文字を完成させ解散となりました。

（北海道青年委員・油石博敬さん 北海道医労連）



## 東北ブロック第19回「みちのく」アクト in 裏磐梯

8/27～29、福島県裏磐梯で第19回みちのくアクト in 裏磐梯を開催し、東北各県から134名が参加して東北の夏を満喫しました。1日目は開会式終了後、各班に分かれてのカレーづくり。コテージ泊ということで各班思い思いのカレーを味わいました。その後の夜の交流会は、10t ウィングトラックをメインステージに行い、オープニングとしてビデオで繋ぐ聖火リレーとファイアー点火、各班対抗トイレットペーパー早巻大会、地元のゴスペルグループ「会津マスクワイア」による迫力あるライブを楽しみました。

2日目の記念講演は、イラクで支援活動を行なっているNPO法人「ピースオン」代表の相澤恭行さんによるイラク報告会を行ない、実際にイラクで支援活動を行なっているに映像や写真で生のイラクの現状を報告していただきました。参加者からは、「私が知らないイラクの現状を知り、人々の生命に関わる仕事をしている私にとって、命の大切さを改めて考えさせられました」「自分の生活の中での平和を考えさせられた。あんな状況下でイラクの子が笑っているのがグッときた。大人が守ってあげなきゃと思った」など感想が寄せられました。

その後、オプションツアーにゴー!! 会津若松コース、猪苗代コース、喜多方コースに分かれました。そしていよいよ東北名物?デーモン閣下とブラッディ(血まみれ)ナースを司会に「大夜祭り」へと突入…。東北各県を斬りまくり切腹した青森県のギター侍をトップに、あの話題の「サンバ」に合わせてマツケンも登場、山形県の「マツケンサンバ」と各県の出し物が次々と続き、「悪魔からの贈り物」。デーモン閣下が参加者全員に恐怖を届ける抽選大会と企画が盛り沢山、最後はアクト名物「青森のねぶた」で盛りあがりました。

3日目は、班別お別れ会と閉会式。今回のアクトのために実行委員会で作成した「テーマソング」を最後にみんなで歌い、終了しました。

この3日間を通じて、新たな出会いと多くの青年との連帯と共同を広げることができ、福島に限らず東北全体で、大きな盛りあがりを作る事ができたと思っています。この盛りあがり在今后の青年部活動につなげ、来年北海道での開催となる全国アクトに大勢で参加したいと思います。

（福島県医労連・斉藤和博さん 福島医療生協労組）

